



がん専門病院における「切れ目のないケア」の取り組み

皆様から「“がん”ならやっぱり九州がんセンター」と思っていただけるように、「がん看護」の質の向上に取り組んでいます。

看護部では、いつでも患者さんに寄り添い、その人らしさを大切にして生活を支えるために、切れ目のない看護を提供するための体制の構築を積極的に行ってきました。2018年に退院専従看護師を全病棟に配置、訪問看護ステーションを開設、2019年に退院後電話訪問の開始、2022年に病棟-外来連携看護師と外来療養調整看護師を配置、2023年にセルフケア支援外来を開設、そして2025年1月に入退院支援センターの業務拡大、施設拡張を行いました。

九州がんセンターでは様々な看護師と部署が連携することにより、初診 → 入院治療 → 退院 → 外来通院・在宅療養 での様々な場面で切れ目なく患者さんを支えるしくみがありますので、ご紹介いたします。



- 【入退院支援センター】 入院前にオリエンテーションを行い、できるだけ不安を少なく入院していただけるようにしています。必要に応じて薬剤師や管理栄養士などの連携を行います。
- 【意思決定支援外来】 がん看護のスペシャリストが患者さんやご家族の納得がいくような選択ができるよう支援しています。
- 【病棟-外来連携看護師】 病棟看護師が外来診療にも関わり情報を共有することにより、患者さんが入院/通院治療を安心して受けることができるように支援しています。
- 【退院調整専従看護師】 安心して退院できるように入院中から退院後の生活を見据えた支援を行っています。
- 【外来療養調整看護師】 外来患者さんが治療や検査を受けながら、住み慣れた自宅での生活を安心して送れるように支援しています。
- 【セルフケア支援外来】 がん化学療法認定看護師が、がん薬物療法の副作用や生活面の困りごとなどに対応しています。
- 【訪問看護ステーション】 病院から自宅へのつながりのある在宅ケアを実践しています。24時間対応しています。
- 【退院後電話訪問】 退院後に病棟の担当看護師からお電話をさせていただき、おからだの具合や困りごとなどをおたずねして支援を行っています。

他にも、がん看護専門看護師、小児看護専門看護師、乳がん看護認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、がん放射線療法専門看護師、緩和ケア認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、感染管理認定看護師など約30名のスペシャリストがチーム医療・ケアを行っています。

「切れ目のないケア」により患者さんに常に寄り添い必要な支援を切らずに届けること。その人らしさを大切に、生活と治療の両方を支えることを心がけています。私たちは療養のどの場面でも「つながり」を感じてもらえるよう看護の力で支え続けたいと思っています。

※当院ホームページの「患者さんを支える」内の「切れ目なく患者さんを支える」のページにも詳細を掲載していますので、ぜひご覧ください。

